

中学校第2学年 音楽科 学習指導案

1 単元名

「仲間とともに、表情豊かに合唱しよう」

教材「今日は君の Birthday」（教育芸術社 中学生の音楽2・3上）

2 単元について

(1) 単元観

本単元は、中学校学習指導要領の第2各学年の目標(2)「多様な音楽表現の豊かさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高める。」を受け、2 内容A表現－(1)ア「歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して歌うこと。」，ウ「声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、表現を工夫しながら合わせて歌うこと。」をねらいとしている。

本教材は、大切な人に思いを寄せる内容の歌詞になっている。曲にはさまざまな声部の重なり方が盛り込まれており、各パートの役割を理解して合唱することが期待できる。また、〔共通事項〕の中から音色・強弱に着目させ、なぜその部分に記号がつけられているのかを考えたり、どのような音色で歌ったりしたらいいのかについて意見交換しながら、思いや意図をもって表現を工夫するのに適している。

これらのことから、本単元において歌詞の内容や曲想と音楽の構造などとの関わりについて、音楽を形づくっている要素に着目し表現の工夫を行う学習は、未来の創り手となる「豊かな学び」の創造につながるものであると捉える。

(2) 系統観

小学校第6学年	中学校第1学年	中学校第2学年 (本時)	中学校第3学年
「豊かな歌声をひびかせよう」 曲のまとまりや強さの変化に気をつけて、曲想にふさわしい歌い方を工夫して歌う。	「仲間とともに、表情豊かに合唱しよう」 歌詞の内容や曲想を感じ取り、パートの役割や全体の響きをとらえ、仲間と一緒に表現を工夫して表情豊かに合唱する。	「仲間とともに、表情豊かに合唱しよう」 歌詞の内容や曲想を味わい、パートの役割と全体の響きとのかかわりを理解し、曲にふさわしい表現を仲間と一緒に工夫して表情豊かに合唱する。	「仲間とともに、表情豊かに合唱しよう」 歌詞の内容や曲想を味わい、言葉と旋律とのかかわりやパートの役割と全体の響きとのかかわりを理解し、曲にふさわしい表現を仲間と一緒に工夫して表情豊かに合唱する。

(3) 生徒観 (男子16名、女子14名、計30名)

○本学級は、音楽を好きな生徒が多く、男女の仲もよく、協力しながら意欲的に歌唱活動に取り組んでいる。一方で、歌唱活動に対して苦手意識をもっている生徒も女子に数名いる。さらに、男声では変声期に入り苦手意識をもつ生徒も見られる。

○6月に実施した授業アンケートの結果は、次の通りであった。

(4：当てはまる・3：やや当てはまる・2：やや当てはまらない・1：当てはまらない)

項目	段階 (数字は人数)											
	4			3			2			1		
	ソ	ア	男	ソ	ア	男	ソ	ア	男	ソ	ア	男
1 音楽の授業は、楽しい。	5	7	8	1	1	4	-	-	3	-	-	1
2 音楽の授業は、終わったときに達成感が味わえる。	4	1	6	1	7	3	1	-	6	-	-	1
3 正しいリズムで歌うことができる。	3	5	4	3	1	7	-	1	2	-	1	3
4 正しい音程で歌うことができる。	2	3	4	4	3	6	-	2	3	-	-	3
5 パート練習の時、積極的に声を出している。	4	1	6	1	6	5	1	1	4	-	-	1
6 パート練習の時、まわりの歌声に合わせて歌うことができる。	3	5	8	2	1	5	1	2	2	-	-	1
7 合唱の時、他のパートの歌声に合わせて歌うことができる。	2	4	4	4	2	7	-	1	3	-	1	2

○7月に実施した学習に関するアンケートの結果は、次の通りであった。(数字は、平均ポイント)
(4:そう思う 3:まあまあそう思う 2:あまりそう思わない 1:そう思わない)

	質 問 「自分は、～ と思う。」	男子	女子	クラス
1	学校生活や学習を通して、自分自身が成長した。	3.47	3.13	3.29
2	学校生活や学習を通して、周りの人が成長している。	3.13	3.31	3.23
3	学校生活や学習を通して、周りの人から、成長を認められている。	3.07	2.69	2.87
4	学校生活や学習を通して学んだことをもとに、自分自身が主体的になった。	3.13	2.94	3.03
5	学校生活や学習を通して学んだことをもとに、周りの人が主体的になった。	3.27	3.00	3.13

- ・1, 2の結果より、多くの生徒が、自分自身や周りの人の「成長」を実感していることや、男子は自分自身の「成長」に、女子は周りの人の「成長」に注目していることが分かる。
- ・4, 5の結果より、「主体的になった」と感じている生徒は多いものの、「成長」の実感ほど高くはない。
- ・3の結果より、「認められている」と感じている割合が低い傾向にある。

○10月に実施した音楽科に関する事前アンケートの結果は、次の通りであった。

1. 合唱をするとき歌詞や作曲者の思いを感じながら歌うことができる。							
あてはまる		ややあてはまる		あまりあてはまらない		あてはまらない	
10.3 %		65.6 %		20.7 %		3.4 %	
2. 合唱をするとき、どのような事につけて歌っていますか。下の諸要素から選んでください。(複数可)							
音色	旋律	リズム	速度	強弱	形式	構成	テクスチャ
72.4 %	34.5 %	72.4 %	58.6 %	82.8 %	6.9 %	10.3 %	27.6 %

- ・1番の設定より、歌うことが好きな生徒が多いものの、表現を高めるところまでには至っていないことがうかがえる。
- ・2番の設定より、音楽を形づくっている要素の中で高い意識をもっているものは、「強弱」「音色」「リズム」「速度」であった。しかし、曲中に指示された記号を意識しているものの、実際に曲想に応じた歌唱表現を行うまでには至っていない。

(4) 指導観

- 指導にあたっては、パートリーダーのもとグループ活動を中心に進めていく。話し合い活動では、各パートの役割と音楽の要素を基に、工夫点を考えさせる。パート練習では、範唱音源を使って練習を進めさせ、各パートを巡回し工夫点の表現ができているかを確認していく。
- 整理の過程ではタブレットで録画した自分たちの合唱を鑑賞し、1時間の取り組みを客観的に振り返る時間を設ける。

研究の視点1

「見方・考え方」に着目した問いの工夫

- ①音楽を形づくっている要素についての問いを設定することで、音楽的な見方・考え方を働かせて表現の工夫ができるようにする。

研究の視点2

学びを実感する振り返りの工夫

- ②ビデオ視聴により、前の表現と比較し表現の工夫が分かるようにする。
③表現の工夫だけではなく、資質・能力についても振り返らせることで、「何ができるようになったか」を意識できるようにする。

3 単元の目標と評価規準

単元の目標	歌詞の内容や曲想を味わい、声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解し、曲にふさわしい表現を仲間と一緒に工夫して表情豊かに合唱することができる。	
音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	表現の技能
①歌詞の内容や曲想に関心をもち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 ②声部の役割と全体の響きとのかかわりに関心をもち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	①音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。 ②歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。 ③声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。	①歌詞の内容や曲想、声部の役割と全体の響きとのかかわりを生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な発声や言葉の発音、呼吸法などの技能を身に付けて歌っている。

4 指導・評価の計画（4時間取扱い 本時4 / 4）

単元を貫く問い：伝えようクラスの「思い」、響かせよう美しいハーモニー。

次	時	学習活動	評価及び研究の視点
一	1	1 各パートの旋律のイメージをつかむ。 2 パート練習に取り組む。 3 合唱に取り組む。	【関心・意欲・態度】②：観察 【音楽表現の創意工夫】①：観察 【表現の技能】①：観察 【研究の視点1】 ①音楽の要素についての問いを設定することで、リズムや旋律を工夫して歌えるようにする。
二	2	1 曲のつくりと各パートの役割を確認する。 2 パート練習に取り組む。 3 合唱に取り組む。	【関心・意欲・態度】②：観察・ワークシート 【音楽表現の創意工夫】③：観察・ワークシート 【表現の技能】①：観察 【研究の視点1】 ①音楽の要素についての問いを設定し、各パートで旋律・音程を工夫して歌えるようにする。
三	3	1 3つのグループで、歌詞に込められた「思い」について話合う。 2 パート練習に取り組む。 3 合唱に取り組む。	【関心・意欲・態度】②：観察・ワークシート 【音楽表現の創意工夫】①：観察・ワークシート 【表現の技能】①：観察 【研究の視点1】 ①音楽の要素を基に、工夫点を考えさせる。 【研究の視点2】 ②録画した本時の合唱を鑑賞し、学びを実感させる。
四	4 (本時)	1 3つのグループで、各工夫点について話し合う。 2 パート練習に取り組む。 3 合唱に取り組む。 4 思いが伝わる合唱になっていたか振り返り、解決する方法を考える。	【関心・意欲・態度】②：観察・ワークシート 【音楽表現の創意工夫】①：観察・ワークシート 【表現の技能】①：観察 【研究の視点1】 ①音楽を形づくっている要素についての問いを設定する事で音楽的な見方・考え方が働くようにする。 【研究の視点2】 ③表現の工夫だけではなく、資質・能力についても振り返らせる。

5 本時の学習

(1) 目標

「今日は君の Birthday」を、思い（メッセージ）が伝わる合唱に仕上げる。

(2) 展開

過程	学習活動	指導上の留意点及び評価	備考
導入 5分	1 合唱コンクールを振り返り、感想を述べる。 2 本時の目標を確認する。	○旋律の流れに着目した指導助言をする。	めあて・授業の流れカード
展開 15分	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;">「今日は君の Birthday」を、思いが伝わる合唱に仕上げよう。</div> 3 [本時の問い]について話し合う。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;">[本時の問い] 歌詞の内容や曲想を味わって、音色や強弱を工夫して歌おう。</div>	【研究の視点1】 ①音楽を形づくっている要素についての問いを設定することで、音楽的な見方・考え方が働くようにする。	
15分	(1) 合唱コンクールのビデオを視聴する。 (2) 自分の考えを持つ。 (3) アイデアを共有する。 <div style="border: 1px dotted black; padding: 5px;"> 【言語活動】（設定の意図） 音楽の要素を基に工夫点について話し合わせる事によって、音楽における言語活動を活発化させる。 </div> 4 パート練習に取り組む。 (1) 「音色」「強弱」をポイントに練習に取り組む。	徹底指導 （ポイント） ○音楽の要素（音色・強弱）に注目して視聴させる。 徹底指導 （ポイント） ○前時に学習したパートの役割と強弱を参考に考えさせる。 能動型学習 （ポイント） ○音楽の要素（音色・強弱）を基に、リーダーを中心にパートの考えを話し合わせる。	ワークシート 付箋 掲示用 記入用紙 マーカー
	5 合唱練習に取り組む。 (1) 「旋律」をポイントに練習に取り組む。 (2) 1曲通して合唱する。	徹底指導 （ポイント） ○姿勢・呼吸・発音等、基本を押さえながら、正確なリズム・音程で歌わせる。 能動型学習 （ポイント） ○話し合った工夫点を表現できるようアドバイスする。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> 評価：表現（観察） B基準 どのように歌うかについて、班で協力して掲示用シートにまとめ、表現しようとしている。 </div> A基準 B基準に加え、表情豊かに歌っている。 〈B基準に達していない生徒への手立て〉 ○B基準に達している生徒の側で真似をさせたり、指導者が一緒に範唱したりする。 ○タブレットで録画する。	ワークシート USBメモリ ラジカセ ピアノ 電子ピアノ 指揮 ピアノ伴奏 タブレット
整理 15分	6 学習したことを振り返る。 (1) 録画を見る。 (2) 気づきを記録し発表する。	【研究の視点2】 ③表現の工夫だけではなく、資質・能力についても振り返らせる。	タブレット ステレオ・TV ワークシート